

2025年3月15日
第8回産官学連携シンポジウム実行委員長 山岡 一平

日本アミノ酸学会 第8回産官学連携シンポジウム ポスター演題募集のご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は大変お世話になっております。

さて、日本アミノ酸学会では、2025年6月2日（月）に第8回産官学連携シンポジウムを開催させていただくことになりました。本シンポジウムでは、医療・健康への貢献に深く関わるたんぱく質・アミノ酸栄養について、そして供給面での今後の課題とされている部分に着目したご研究をされている先生方にご講演していただく予定で、産と官・学のアミノ酸・ペプチド・タンパク質に関する共同研究を中心としたポスターセッションも実施する予定です。つきましては、そうしたご研究の公表可能な成果がございましたら、ぜひともポスター発表をお願いしたいと存じます。御発表いただける場合、別添の用紙に必要事項を御記入の上、**3月28日（金）までに** E-mailにてお送りいただけますでしょうか。何卒、御検討の程、よろしくごお願い申し上げます。尚、発表要旨は**4月25日（金）までに**ご送付いただくよう別途お願いいたしますので、ご準備のほど、よろしくごお願い申し上げます。

日本アミノ酸学会 <https://www.jsaas.org/>

日本アミノ酸学会は、50年の歴史をもつ必須アミノ酸研究委員会を前身として2007年に設立された学会です。「生命科学分野におけるアミノ酸の学術的研究を推進、奨励、啓発し、もって人類の健康・福祉の向上に資すること」を目的として活動をしています。

産官学連携シンポジウム

日本アミノ酸学会では、主要な事業の一つとして「アミノ酸研究・開発における産官学共同研究の推進」を掲げており、アミノ酸に関心を持つ研究者同士のフランクな意見交換の場として「産官学連携シンポジウム」を隔年で開催しています。過去のシンポジウムでは毎回150名前後のご参加をいただき、アミノ酸研究に関する有益な議論が交わされています。

日本アミノ酸学会主催第7回産官学連携シンポジウム
(テーマ) 持続可能な医療・健康への貢献に向けた取り組み

日時： 2025年6月2日(月) 13:00~19:00(予定)
場所： 東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール (113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1)
参加費： 無料

【プログラム】

シンポジウムのテーマ：持続可能な医療・健康への貢献に向けた取り組み

場所：東京大学弥生講堂 一条ホール

【話題提供】

動物とヒト、代謝の違いによるエネルギー投与量の考え方の考察

株式会社大塚製薬工場 加藤寛彬

【1部】病態栄養時のタンパク質・アミノ酸に関する最新の知見

重症患者におけるタンパク質・アミノ酸投与 update

横浜市立大学病院 集中治療学講座 中村謙介

慢性肝疾患に出現するアミノ酸代謝異常と病態への関与

国立国際医療センター 肝疾患医療情報室 嘉数英二

数理モデルを用いたリフィーディング症候群による低リン血症メカニズムの理解とその制御

九州大学医学部 生体防御医学研究所 久保田浩行

【2部】代替タンパク質の社会実装

Bio manufacturing for a sustainable future

Spiber 株式会社 菅原潤一

サステナブルな次世代フードシステムの構築への取り組み

味の素株式会社 グリーン事業推進部 降籬泰史

【3部】ポスター発表(場所：東京大学弥生講堂 アネックス)

(18:00~19:00)

問合せ先： 第8回産官学連携シンポジウム実行委員長

山岡 一平 (株式会社 大塚製薬工場 OS-1事業部 メディカルフーズ研究所)

〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115

TEL：080-2981-3197

E-mail：yamaokai@otsuka.jp